

令和3年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

令和3年9月11日（土）開催

群馬県医師会

令和3年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

復職・再研修支援体制について

女性医師のキャリアアップ支援体制について

ドクターバンクは群馬県が運営

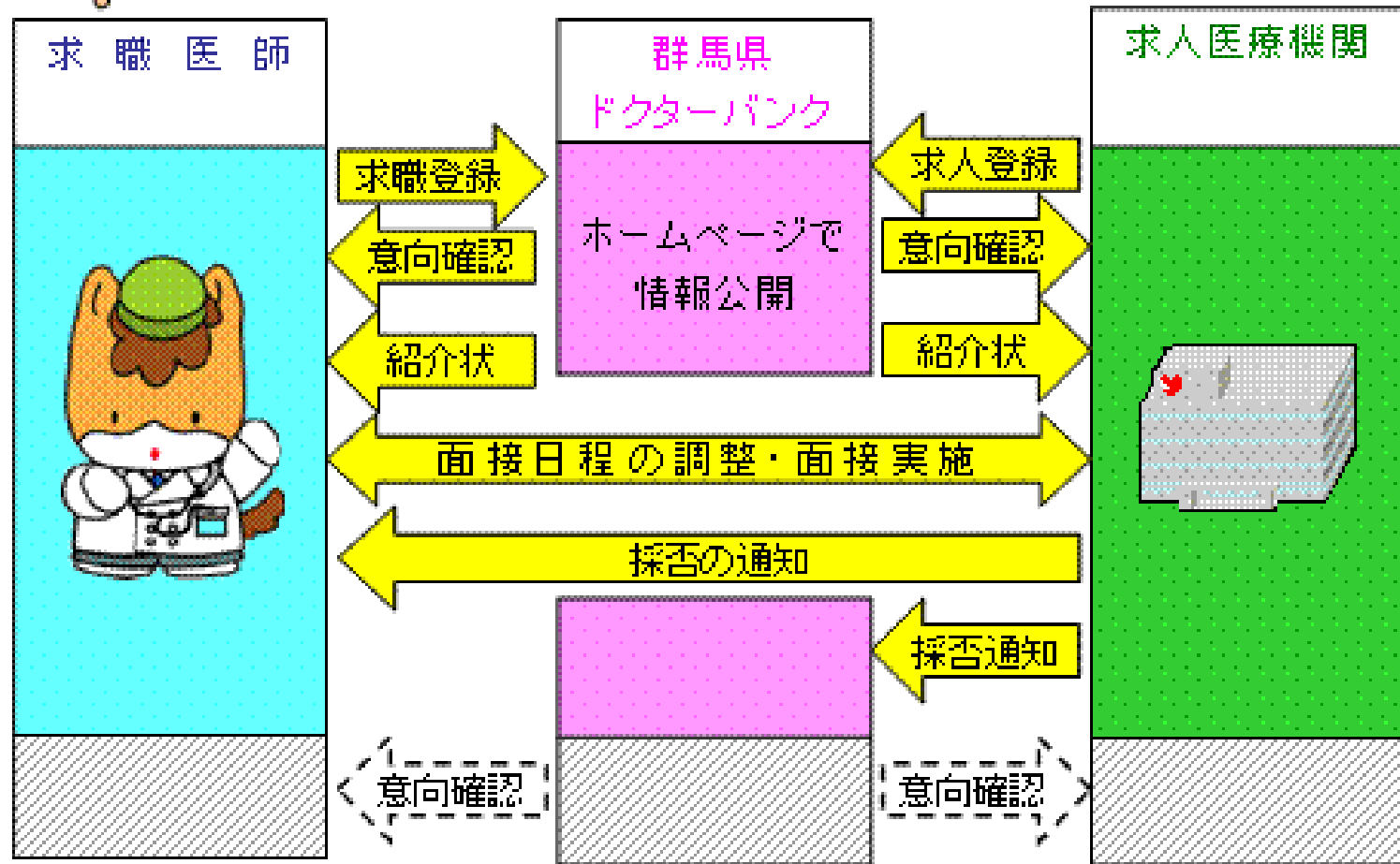


- 平成19年に運用開始
- 登録医療機関81施設 (求人件数185件)
- 登録医師66名

(R3.8.20現在)

登録から就業までの流れ

登録から就業までの流れ



- ★採用の場合は、求職登録を取り消します。
- ★不採用の場合は、「意向確認」に戻ります。

ドクターバンク幹旋成立実績

年 度	人 数	年 度	人 数
平成19年度	7	平成26年度	0
平成20年度	4	平成27年度	0
平成21年度	3	平成28年度	1
平成22年度	2	平成29年度	1
平成23年度	2	平成30年度	0
平成24年度	1	令和元年度	1
平成25年度	3	令和2年度	0
		合 計	25

斡旋成立者の診療科・性別・就業区分

診療科	人数
内科	11
麻酔科	4
泌尿器科	3
小児科	2
皮膚科	2
精神科	2
神経内科	1
合計	25

性別	人数
男性	13
女性	12
合計	25

就業区分	人数
正規	16
非常勤	9
合計	25

ドクターバンクの運営状況

- ・年間の問い合わせは5～7件程度
(過去5年間)

<PR方法>

- ・群馬県ホームページ
- ・e-doctorのサイトに掲載

(医師求人・医師募集・医師転職・医師求人広告専門の就職・転職情報サイト)

ドクターバンク運営上の課題

- ・ドクターバンクの実績があまりあがらない理由

→最近インターネット上の転職サイトも多くあり、そちらの方が募集件数が多く、待遇の交渉代行など優れたサービスが多い、ということから、先生方もそちらの方が使い勝手が良いと認識しているため、と考えている

- ・今後はこの状況を考慮して、県庁内で事業の継続・改善について検討を進めていく

(群馬県の見解・考え)

令和3年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

復職・再研修支援体制について

女性医師のキャリアアップ支援体制について

群馬大学医学部附属病院の取り組み



群馬大学医学部附属病院の取り組み

- ・群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・教育センター内の、**男女協働キャリア支援部門**では、男女を問わず、充実したキャリアを目指す医療者の現場復帰を支援している。

地域医療研究・教育センターについて

地域医療研究・教育センター

臨床研修部門

看護職キャリア
支援部門

連携
教育

スキルラボ部門

連携

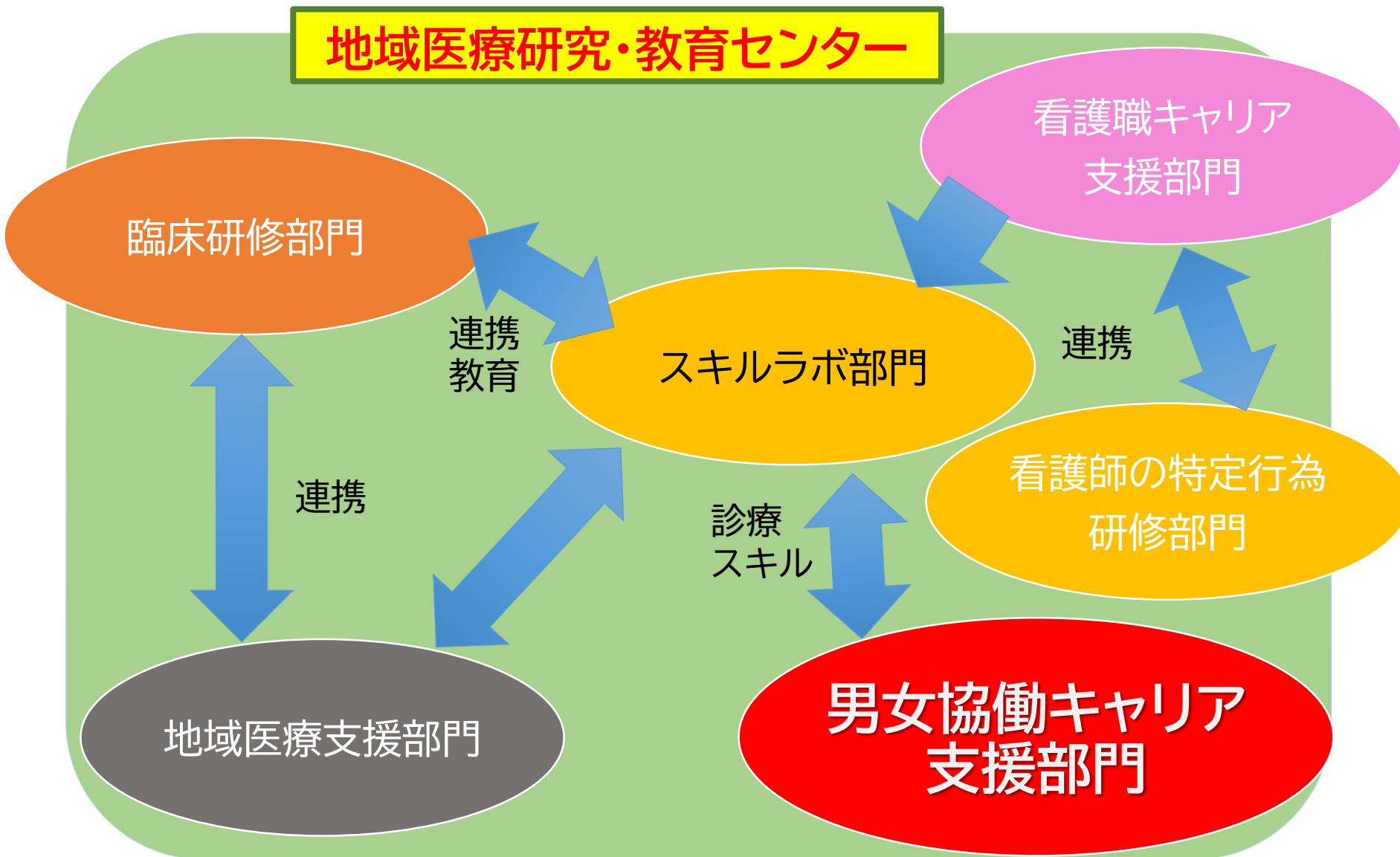
連携

看護師の特定行為
研修部門

診療
スキル

地域医療支援部門

男女協働キャリア
支援部門



男女協働キャリア支援部門の活動

研修

スキルアップのための研修活動をサポート

教育

スキルラボ部門との連携によるシミュレータ教育・e-learning

支援

医師・メディカルスタッフの復職支援

その他

男女ともに働きやすい職場のための意識改革等



医師ワークライフ支援プログラム ～短時間勤務から無理なく復職～

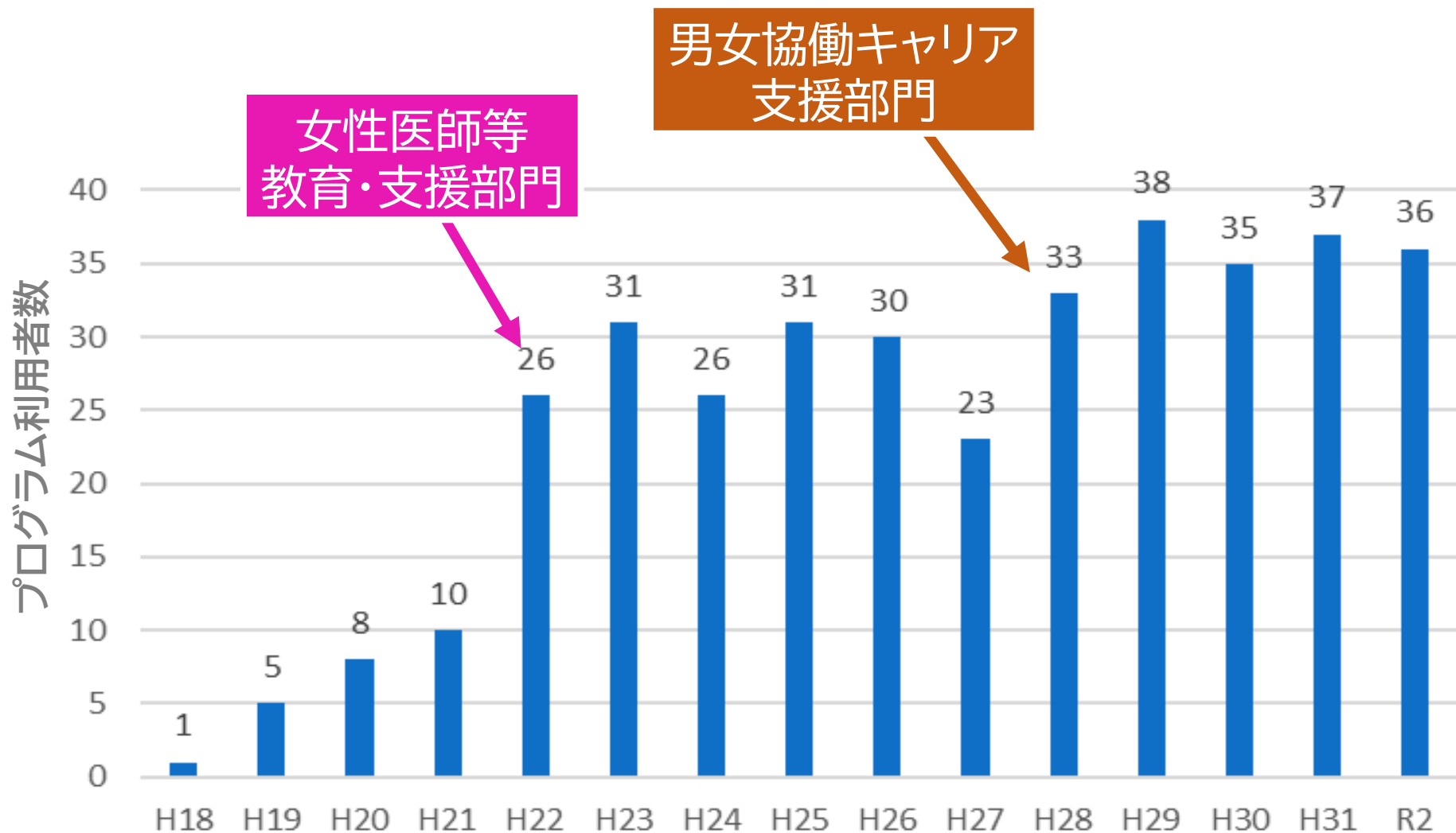


各自の意向に沿った支援

- ・臨床現場を離れた医師が通常業務に復帰するまでの再教育支援
- ・継続的な高度医療の知識・技術の習得

支援プログラム利用実績

～男女を問わず医師のワークライフを支援～



支援プログラム終了者は常勤医等として復職へ

支援プログラム終了者数

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
計(名)	9	6	8
常勤医(名)	5	3	4
非常勤医(名)	2	2	1
その他(名)	2	1	3

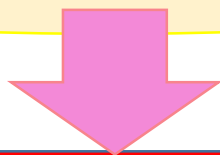
- ・開設以来のべ150名を超える医師が本プログラムを活用し、終了者の半数以上が常勤医として復職している
- ・復職先は、群馬大学に限らず、県内各医療機関へ復職実績がある

病院内保育所運営費補助金事業

群馬県庁での事業

当初は看護師の復職と定着を目的として始まり、平成14年からは、医師などの職種にも適応となった

看護師や医師の子どもが保育所を使う場合に、子どもの人数や保育士の人数、病児の預かりや負担に応じて病院保育所に補助金が支給される



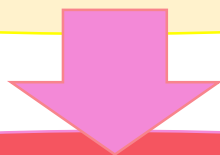
月謝を一定額に抑えることや、各病院の負担を軽減して保育所運営を継続してもらうことで、女性医師等が産休明けに安心して復職できる環境を創出している

病院内保育所運営費補助金事業

群馬県庁での事業

当初は看護師の復職と定着を目的として始まり、平成14年からは、医師などの職種にも適応となった

看護師や医師の子どもが保育所を使う場合に、子どもの人数や保育士の人数、病児の預かりや負担に応じて病院保育所に補助金が支給される



令和2年度の交付実績
33施設 8,837万円

令和3年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

復職・再研修支援体制について

女性医師のキャリアアップ支援体制について

群馬県医師会保育サポーターバンク

群馬県医師会では、保育サポーターバンク事業によって、子育て医師の離職を防ぎ、就業(キャリア)継続の支援をしていくことが、女性医師のキャリアアップ支援にもつながっていくと考えております。

群馬県医師会保育サポーターバンクとは

- ① 子育て医師が仕事と家庭を両立するための支援
- ② 子育て医師に対して、保育支援相談員が、そのニーズに沿った保育サポーターの情報提供や紹介をして、就業継続を支援
- ③ 支援内容は……
 - 保育所・幼稚園や習い事への送迎
 - 自宅もしくはサポーター宅での預かり
 - 病気の時の預かり
 - 食事の支度や掃除などの家事支援 等



群馬県医師会保育サポーターバンクとは

財源

「地域医療介護総合確保基金」

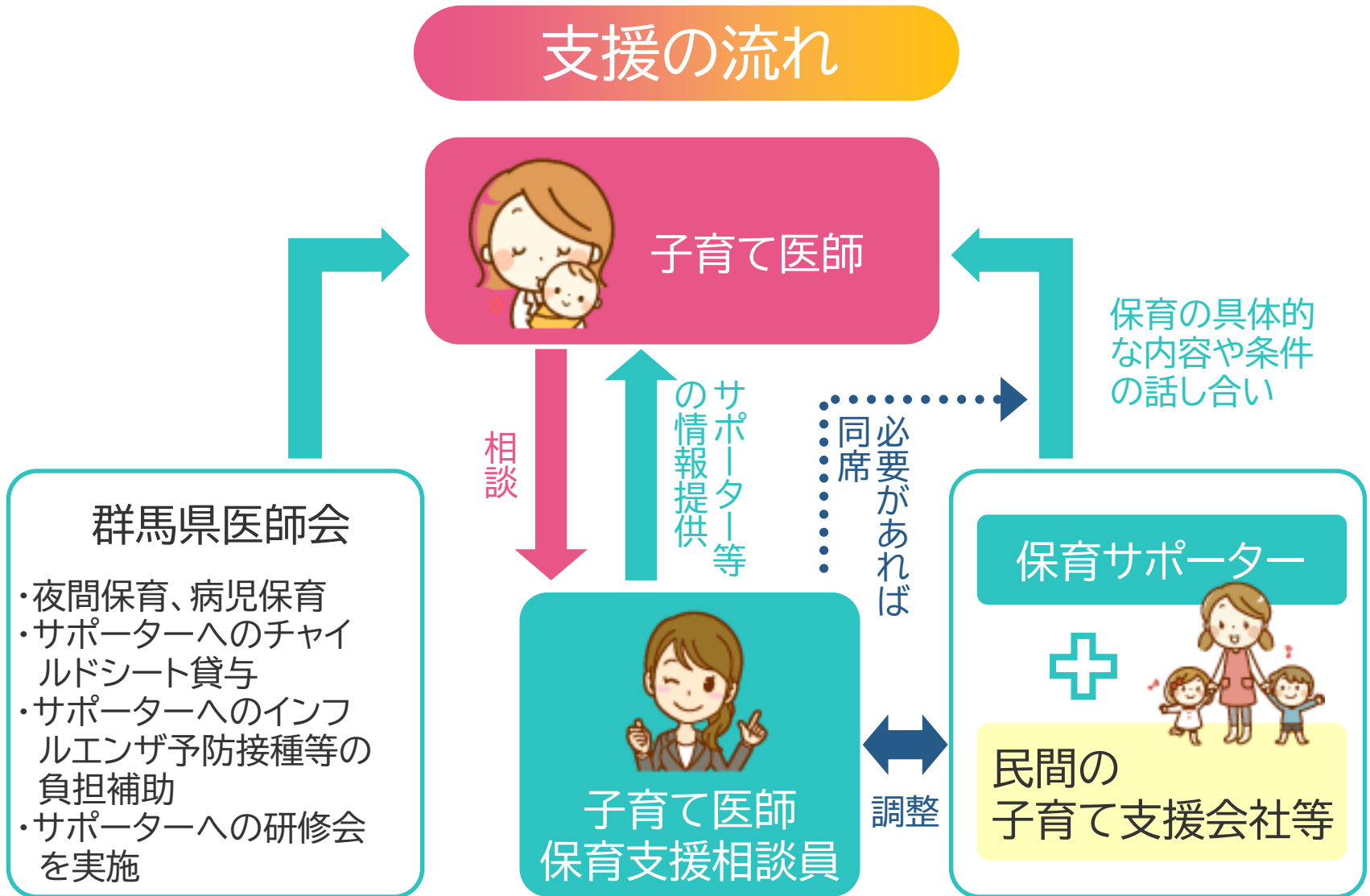
…女性医師等就労環境整備・保育支援事業

年度	地域医療介護総合確保基金活用実績
平成28年度	1494.6万円
平成29年度	1276.1万円
平成30年度	1277.4万円
令和元年度	1271.1万円
令和2年度	1239.2万円

(平成27年度までは「地域医療再生基金」も活用)

群馬県医師会保育サポーターバンクとは

支援の流れ



群馬県医師会

- ・夜間保育、病児保育
- ・サポーターへのチャイルドシート貸与
- ・サポーターへのインフルエンザ予防接種等の負担補助
- ・サポーターへの研修会を実施

子育て医師

相談

サポーター等の
情報提供

必要があれば
同席

保育の具体的な
内容や条件
の話し合い

保育サポーター



民間の
子育て支援会社等

調整

群馬県医師会保育サポーターバンクとは ～助成制度～

・子育て支援助成制度

利用医師に対し、県医師会から利用料金の一部を助成します

利用時間帯等	補助単価等
平時（7時～19時）	200円×時間数
時間外及び病児・病後児（平時）	400円×時間数
病児・病後児（時間外）	600円×時間数
お泊り	2,000円×日数

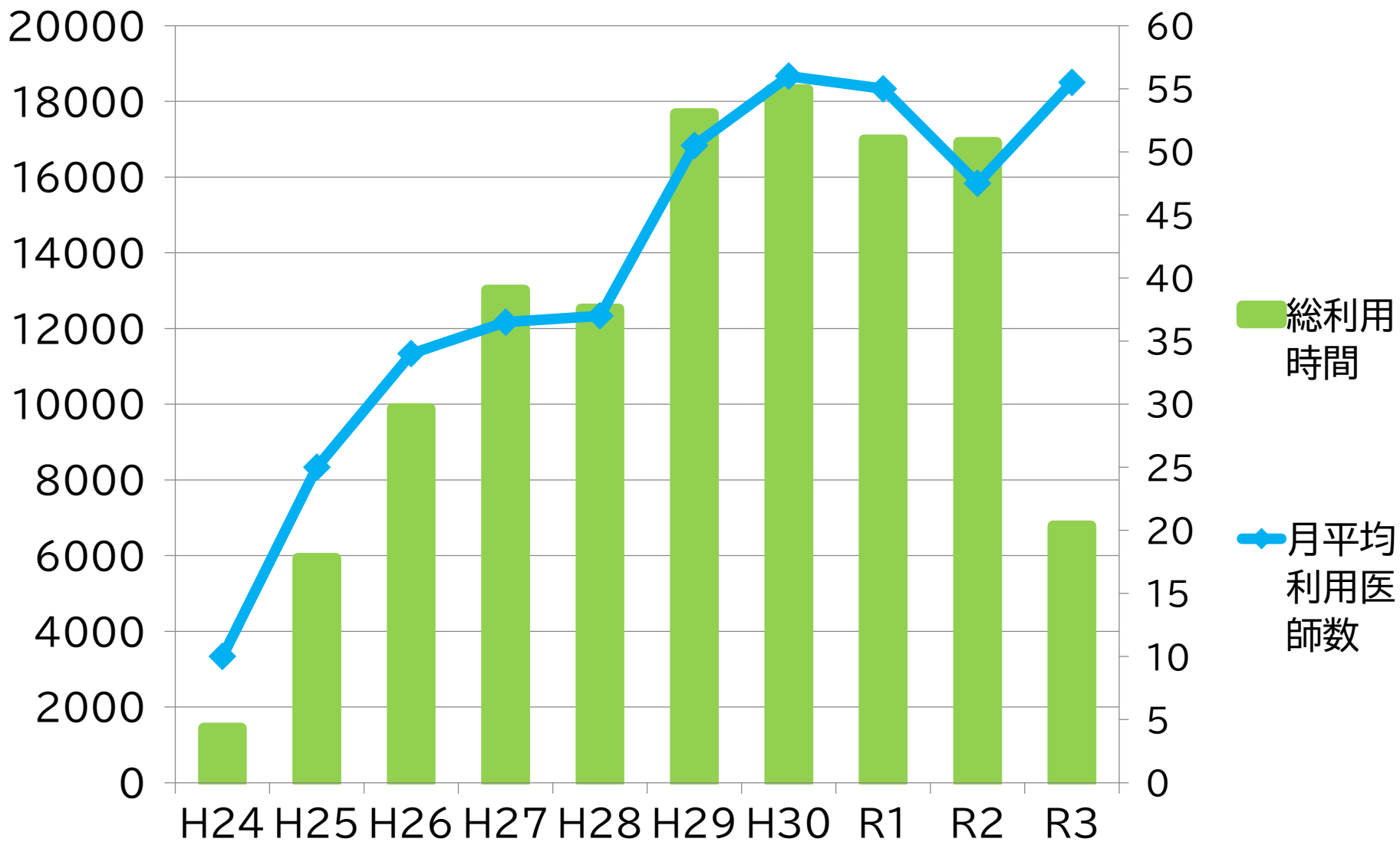
- ・チャイルドシート・ジュニアシートの貸与制度
- ・インフルエンザ予防接種料金の助成制度
- ・タクシー料金の助成制度

保育サポーターに対しての助成になります

保育サポーターバンクの実績

年度	月平均 利用医師数	平時 利用時間	時間外 利用時間	平時病児 利用時間	時間外病児 利用時間	総利用時間	
H24	10	918.5	307	209.5	3.5	1438.5	5月設立
H25	25	4623.5	923.5	366	11.5	5924.5	
H26	34	7892	1255.5	724	6	9877.5	
H27	36.5	10970	1440.5	596	8	13014.5	
H28	37	10647.5	1554.5	305	2.5	12509.5	
H29	50.5	15319	2001.5	347.5	7.5	17675.5	
H30	56	15244.5	2397	644	25.5	18311	
R1	55	14325.5	2250.5	390.5	9.5	16976	
R2	47.5	14746.5	2105.5	61	0	16913	
R3	55.5	5649.5	1062.5	68	0	6780	7月現在

保育サポーターバンクの実績



保育サポーターバンクの現状と課題

登録状況(令和3年8月18日現在)

登録医師数 **213** 名 登録サポーター数 **237** 名

令和3年7月の利用実績

利用医師数 **57** 名 利用子ども数 **90** 名

今後の課題

利用医師数の増加に対し、登録サポーターの人数がそれほど増加していないことや、サポーターの高齢化により、利用希望医師とのコーディネートに苦慮するようになってきている。今後は、いかにサポーターを集めるかが課題である。